

# 教育研究業績書

2024年10月22日

所属：英語グローバル学科

資格：准教授

氏名：福本 由紀子

研究分野	研究内容のキーワード
英語圏児童文学	児童文学, 英語
学位	最終学歴
博士(文学), MA (Children's Literature), 修士(英文学)	MA in Children's Literature, University of Reading 甲南女子大学大学院 文学研究科 英文学専攻 博士課程 満期退学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2013年09月～現在	英語圏の絵本の読み方、分析の仕方を翻訳の実践を用いて学ばせるという授業において、学生個人が興味のある絵本について発表し、質疑応答などの活発な意見交換を行う。後半は独自の絵本分析を行い、英語力のみならず創造力を駆使して、オリジナリティのある翻訳作品を仕上げる学生主体型の授業としている。 (「英語圏の絵本と文化」)
2. 学生の理解をより深めるための授業展開	2013年9月～2015年3月	ACEクラスで英語のみで、学生(1年生)にとって予備知識の少ない英米文学史を学ぶ授業であるため、副教材として配布資料を多用し、適宜映像を用いて、英語圏の文化や歴史を含めた文学背景の理解に努める。講義形式の授業ではあるが、同時に個々の学生が興味のある作家について調査・分析し、それらを発表・質疑応答を行うという形式も取り入れるため、学生全員が参加型の授業で文学知識を深めている。(「英米文学入門」)
3. 学生の理解をより深めるための授業展開	2013年04月から2014年03月	個人的な英語能力によって、理解力に大きく差がつくライティングの授業であるため、全体への講義・解説の後、多くの質問を受け付け、また、スクリーンに学生の課題例を提示し、クラス全員でライティングにおける問題点を共有する。さらに、個別指導に力を入れ、すばやいフィードバックによって、各々の文書作成能力を向上させている。(「ライティング」)
4. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2012年4月～2016年3月	児童文学に関する基礎知識を解説した後で、学生各々が興味のあるテーマについて研究し、毎回の授業で発表、討論を行う。少人数のゼミ形式の授業であるため、学生同士の意見交換が活発に行われるような授業展開としている。短大1年生対象の授業であるため、調査、分析、研究といったアクティブラーニングを通じて、大学生としての授業のおもしろさを実感させ、それらを発表することで、互いに興味や知識の幅を広げ、今後の大学生活を深めることができるよう指導している。(「児童文学入門」「子どもの本の世界」(いずれも短大初期ゼミ)2012年、2015年)
5. 絵本を翻訳する表現活動を取り入れた実践	2010年09月から現在	欧米の絵本を実際に翻訳する活動を通して、享受する側ではなく表現する主体としての立場から、ことばや絵の持つ表現上の役割及びその特性について理解を深め、文学表現・文章表現の本質に迫ることを目標とした。(その後自作の発表会を行う)(「翻訳ワークショップ」「英語圏の絵本と文化」)
6. 学生の理解をより深めるための授業展開	2010年04月から2013年03月	英語によるビジネス文書作成という、学生にとっては馴染みのない高度な授業内容であるため、コンピュータールームを使用し、全体への講義・解説の後、学生個々が自分のペースで課題に取り組めるようにしている。時間の許す限り個別指導も行い、即時にフィードバックを行って、各々の文書作成能力を向上させている。また、スクリーンに学生の課題例を提示し、クラス全員で課題作成における問題点を共有する。(「英語文書実務」)

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
7. 学生の積極的発言を促す双方向授業	2010年4月から2012年	少人数のグループごとに研究テーマを設定し、AV機器を活用したプレゼンテーションを行う（パワーポイントを用いた研究発表）。研究調査・発表によって、課題発見力やチームで取り組んで発信する力をつけ、各発表の後には学生同士の討論の時間を設け、クラス全員が授業に積極的に参加する。（「英語プレゼンテーション」）
8. ICT等を活用した授業実践	2010年04月～現在	視覚に訴える教材は学習効果が高く、わかりやすい。それゆえ、自作の教材等をMs-PowerPointで投影し、限られた時間の学習効果をより高めるよう工夫している。
9. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2010年04月～現在	100人を越える大人数での講義授業では、必然的に私語が増え、注意散漫となり、その結果授業への意欲・関心が低下することになる。これに対する取組として、集中しやすい、めりはりのある授業内容とし、OHCやPC、DVDを適宜投影し、視覚的効果によって学生の関心を高める。講義形式ではあるが双方向授業とし、マイクを回して、随時学生に意見を求める。学生の意見に対して、別学生の意見を求める、もしくは担当者からのコメントをする。毎回、授業内容に関するミニレポートの提出を課し、次回にフィードバックを行う。（「英語児童文学」）
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 講義用教材 「The Secret Garden Workbook 『秘密の花園』ワークブック」	2024年6月7日武庫川女子大学ドキュメントセンター発行	田中真由美、松原陽子、 <u>福本由紀子</u> 共著。 ”Integrated Reading I”（英語グローバル学科英語文化専攻1年次配当必修科目）の授業で使用される文学読解教材を作成した。本冊子の発行はJSPS科研費JP23K00735の助成を受けたものである。
2. 講義用教材「Selected Chapters from The Secret Garden: An Annotated Edition 『秘密の花園』注釈付き抜粋版」	2024年5月27日武庫川女子大学ドキュメントセンター発行	田中真由美、松原陽子、 <u>福本由紀子</u> 共著。 ”Integrated Reading I”（英語グローバル学科英語文化専攻1年次配当必修科目）の授業で使用される文学読解教材を作成した。本冊子の発行はJSPS科研費JP23K00735の助成を受けたものである。
3. 講義用教材「『異文化理解 I』『異文化理解 II』ワークノート」	2024年4月1日武庫川女子大学ドキュメントセンター発行	三浦秀松、松原陽子、 <u>福本由紀子</u> 、川西慧、三宅弘晃、前原澄子、富永英夫、佐々木顕彦、田中真由美、山根明敏共著。 英語グローバル学科英語文化専攻における必修科目『異文化理解 I』『異文化理解 II』で使用される教科書に準拠した予習用ワークシート兼授業用ノートである。第2章「「ふさわしさ」をめぐるコミュニケーション 読めない空気」を担当。なお、本ワークシートに加え、小テストも同時に作成。
4. 講義用教材「児童文学貴重史料書影データベース」	2013年04月	児童文学を研究するためには、児童文学そのものがいかに発生してきたか、その史的発生のメカニズムを把握・理解する必要があり、その過程で取り上げられる重要な史料そのものを、単に文字面で紹介・読むだけでなく、実際に見ることこそが重要な学習活動となる。しかし国内でも稀少なものが多くあり、閲覧困難な場合が多い。そこでこうした史・資料などを電子化して教材とし、実物の書影を見ることでより教育的効果が高められるのではと考え、教材資料を作成した。
5. 講義用教材「子どもの本クイズ翻訳文学篇」	2012年04月	児童文学や文学をより身近に感じ、興味を持ってもらうために、誰もが知っている作品の知られざる一面をクイズ形式で出題し、それに併せて講義内容を入れ込む教材（Ms-PowerPoint）を作成した。これは学生から殊のほか好評で、今後は絵本篇、マンガ篇、ファンタジー文学篇、リアリズム篇など、バリエーションを増やしていきたいと考えている。
6. 講義用教材「Maurice Sendakの絵本分析」	2011年04月	大教室での講義において、一冊の絵本を隅々まで丁寧に読み解くことは困難である。そこで実際の絵本を解

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
7. 『Catch Phrase -Everyday Advertisements in England---イギリスの広告で学ぶ基礎英語』	2008年01月南雲堂	<p>説・分析を交えた資料として、電子化して教材とすることでより教育的効果が高められるのではと考え、Maurice Sendakの絵本“Where the Wild Things Are”(1963)をテキストと絵の両方から丁寧に読み解くための教材資料を作成した。</p> <p>Terry O’Brien、荘中孝之、三原京、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>大学生向け初級英語学習テキスト。イギリスで一般的に見られる広告を取り上げ、キャッチコピーに込められたイギリス人の感性を学びながら、英国社会の一端に触れる。基本的な文法項目の解説と共に、TOEIC形式の問題を用いた総合教材。全15章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
8. 『Famous Britons, Past and Present ---文法とパ ラグラフリーディングで学ぶイギリスのヒーロー』	2007年1月南雲堂	<p>Terry O’Brien、三原京、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>大学生向け初・中級英語学習テキスト。イギリスの新旧さまざまな、個性豊かな人物にスポットをあてて綴られた、イギリスの今昔を易しい英文で読む総合教材。TOEIC Test 400点レベルで、全15章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
9. 『Inside Britain ---文法中心で学ぶイギリス生 活』	2006年01月南雲堂	<p>Terry O’Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>イギリスの新と旧、静と動の文化を日常生活を中心に探ったエッセイを用い、リスニング、ポキャブラリー、ライティングなどの総合的な英語力の向上を目指す教材。全20章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
10. 『Basically America, Basically Japan---文法中心 の日米比較』	2005年01月南雲堂	<p>Charles L. Clark、三原京、荘中孝之、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>日米両国の文化・社会事情を比較したエッセイを用い、文法中心のエクササイズを通じて英語力の向上を図る総合教材。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
11. 『Spotlight on Britain---イギリスを探る』	2004年01月南雲堂	<p>Terry O’Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>イギリスの文化や社会に関するエッセイとバラエティに富んだ練習問題を取めた総合教材。同一トピックを二つのレッスンに分け、Part 1 のエッセイはより広い視点から見た内容のもの、Part 2 はPart 1の内容を少し深り下げたものになっている。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
12. 『Bridge to College English---文法中心の大学英 語』	2003年01月南雲堂	<p>Terry O’Brien、三原京、村松秀紀、木村博是、<u>福本由紀子</u>共著。</p> <p>イギリスの文化を学びながら基本的な文法事項を確認し、コミュニケーション能力を高めるためのリスニング訓練を行う英語総合教材。全25章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。</p>
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 大学講義体験授業講師	2024年3月8日	宝塚西高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「英文学：“英語”で絵本をよむ～Where the Wild Things Are」の講師を務めた。
2. 高大連携出張授業講師	2024年1月	武庫川女子大学附属高校2年生対象の出張授業（動画）。学科の説明および体験授業「英語で絵本を「よむ」～Where the Wild Things Are」を実施。
3. 大学講義体験授業講師	2015年12月16日	上宮高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「“英語”で絵本をよむ～Rosie’s Walk」の講師を務めた。
4. 大学講義体験授業講師	2012年5月31日	大阪薫英女学院高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「英語の絵本を分析する」の講師を務めた。
5. 大学講義体験授業講師	2011年11月25日	有馬高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		「“英語”で絵本をよむ～Where the Wild Things Are」の講師を務めた。
4 その他		
1. 学科内職務	2024年4月～現在	学院全体に関する職務分担：史資料調査学科委員 ACE運営委員、英文学会委員、系コーディネータ（第1系・第4系）、オラトリカル委員
2. 学科内職務	2023年4月～2024年3月	学院全体に関する職務分担：貴重図書専門部委員 ACE運営委員（リーダー）、英文学会委員、系コーディネータ（第1系・第4系）、リーディングコーディネータ（統括およびリーディング演習）
3. 学科内職務	2022年4月～2023年3月	ACE運営委員（リーダー）、系コーディネータ（第1系、第4系）、リーディングコーディネータ（リーディング演習）、学習カード委員
4. 学科内職務	2021年4月～2022年3月	ACE運営委員（リーダー）、系コーディネータ（第1系、第4系）、学習カード委員
5. 学科内職務	2020年4月～2021年3月	教務関係委員
6. 学科内職務	2019年4月～2020年3月	教務関係委員
7. 教学局業務：教務委員	2018年4月～2021年3月	学科教務委員を担当。
8. 学科内職務	2018年4月～2019年3月	教務関係委員
9. 学科内職務	2017年4月～2018年3月	学院全体に関する職務：国際化専門委員 ACE実行委員（リーダー）、系コーディネータ委員（第1系、第4系）、交換留学・二重学位担当委員、MEC委員4系）、交換留学・二重学位担当委員、MEC委員
10. 学科内職務	2017年4月～2018年3月	学院全体に関する職務：国際化専門委員 ACE実行委員（リーダー）、系コーディネータ委員（1系、4系）、交換留学・二重学位担当委員、MEC委員
11. 学科内職務	2016年4月～2017年3月	ACE実行委員、系コーディネータ委員（1系、4系）、交換留学・二重学位担当委員、学科懇親会委員
12. 学科内職務	2015年4月～2016年3月	ACE実行委員、広報委員、英文学会関係委員、交換留学・二重学位担当委員、語彙プロジェクト委員
13. 学科内職務	2014年4月～2014年5月31日	広報・HP関係委員
14. 学科内職務	2013年4月～2014年3月	学院全体に関する職務：学院親睦会委員 ACE実行委員、教務関係委員、広報・HP関係委員、二重学位担当委員
15. MUSCリンク会議出張	2013年2月22日～2013年2月28日	アメリカ分校(MFWI)教員とACE関連のリンク会議、授業視察を行うため、アメリカ分校を訪問。
16. 学科内職務	2012年4月～2013年3月	ACE実行委員、教務関係委員、広報・HP関係委員、学科懇親会委員、MEC委員
17. 教学局業務：諸資格対策委員（現・学校教育センター委員）	2011年4月～2014年3月	学科における諸資格対策委員（現・学校教育センター委員）を担当。
18. 学科内職務	2011年4月～2012年3月	教務関係委員、広報・HP関係委員、人権教育専門委員、MEC委員
19. 担任業務	2010年4月～2024年3月	武庫川女子大学英語文化学科の担任を務めた（2010年短英2B、2011年大英1C、2012年大英1S、2013年大英2S、2015年大英1S、2016年大英2S、2017年大英3年学年担任、2018年大英4年学年担任、2019年大英3年学年担任、2020年大英4年学年担任、2021年大英1C、2022年大英1A、2023年大英2A）。
20. 英語学習支援	2010年4月～現在	武庫川女子大学英語学習相談室の相談員として希望者を対象とした英語学習の支援（英語圏児童文学・教務関係について）を行っている。
21. 教育実習引率指導	2010年4月～現在	中・高教育実習の引率指導として英語の授業参観と指導助言を行っている。
22. 学科内職務	2010年4月～2011年3月	ACE実行委員、広報・HP関係委員
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 『言文研研究叢書 1 武庫川学院創立80周年記念論文集 ネーミングの言語文化』	共	2022年10月6日	武庫川女子大学言語文化研究所	玉井暉編著、福本由紀子他共著。 言語文化における「ネーミング」(naming)についての多角的な研究論文集。第2部「6 クシュマン作品にみる「名前」の意味--名を得ることが物語るもの--」を執筆。pp.107-121
2. 『よくわかる児童文化』	共	2020年11月25日	ミネルヴァ書房	川勝泰介編著、福本由紀子他共著。 児童文化研究の方法、歴史、遊び、児童文化財、生活、環境、社会まですべてを網羅した児童文化についての研究書。 第6章児童文化財「児童文学③英・米欧児童文学」、第7章子どもの生活と衣・食・住「子ども部屋」の項を執筆。pp.108-109, 164-165
3. 『ひとりでよめたよ！幼年文学おすすめブックガイド200』	共	2019年6月	評論社	大阪国際児童文学振興財団編、宮川健郎、土居安子、福本由紀子他共著。 大阪国際児童文学振興財団が選書した、読む力をのばす本と絵本200冊の解説。『チムとゆうかんなせんちょうさん』『おめでたこぶた その1 四匹のこぶたとアナグマのお話』『くまのプーさん』『とうさん おはなしして』『魔女からの贈り物』の項を担当執筆。
4. 英語圏諸国の児童文学I—物語ジャンルと歴史 改訂版	共	2013年11月	ミネルヴァ書房	日本イギリス児童文学学会編、三宅興子、桂佑子、福本由紀子他共著。 英語圏の児童文学作品を物語ジャンルから分析したもの。既刊の『英語圏諸国の児童文学I』から大幅改訂。「第21章 伝記物語 (Biography for Children)」の章を担当執筆。pp.121-126
5. 子どもの本100問100答	共	2013年8月	創元社	大阪国際児童文学振興財団編、三宅興子、土居安子、福本由紀子他共著。 子どもの本に関わる質問や疑問100問に対する解説書。担当章：pp.52-53 (移民、難民), 152-153 (不思議の国のアリス), 154-155 (宝島), 204-205 (ピーターパン)
6. 英語圏諸国の児童文学I 物語ジャンルと歴史	共	2011年3月	ミネルヴァ書房	日本イギリス児童文学学会編、三宅興子、桂佑子、福本由紀子他共著。 英語圏の児童文学作品を物語ジャンルから分析したもの。「伝記物語」(Biography for Children)の章を担当執筆。pp.61-66
7. VOICES	共	2009年6月	晃学出版	島式子、黒川由香子、山本泰子、七里敬子、福本由紀子共著。 フランシス・ホジソン・バーネット、フィリパ・アン・ピアス、マーガレット・マーヒー、アーシュラ・K・ル＝グウィン、ヴァージニア・ハミルトンら児童文学作家の生涯、時代思潮、作品の分析。 「フィリパ・アン・ピアス」の章を担当執筆。pp.51-96
8. Catch Phrase - Everyday Advertisements in England---イギリスの広告で学ぶ基礎英語	共	2008年01月	南雲堂	Terry O'Brien、荘中孝之、三原京、木村博是、福本由紀子共著。 大学生向け初級英語学習テキスト。イギリスで一般的に見られる広告を取り上げ、キャッチコピーに込められたイギリス人の感性を学びながら、英国社会の一端に触れる。基本的な文法項目の解説と共に、TOEIC形式の問題を用いた総合教材。全15章、各章4ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。
9. 児童文学研究を拓く—三宅興子先生退職記念論文集	共	2007年5月	翰林書房	三宅興子先生退職記念論文集刊行会(多田昌美、藤井佳子、福本由紀子他)共著。 「Winnie-the-Pooh シリーズにおける子ども部屋の構造」pp.51-73
10. Famous Britons, Past and Present ---文法とパラグラフリーディングで学ぶ	共	2007年01月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、木村博是、福本由紀子共著。 大学生向け初・中級英語学習テキスト。イギリスの新旧さまざまな、個性豊かな人物にスポットをあてて綴られた、イギリスの今昔を易しい英文で読む総合教材。TOEIC Test 400レベルで、全15

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
イギリスのヒーロー 11. Inside Britain --- 文法中心で学ぶイギリス生活	共	2006年1月	南雲堂	章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。 Terry O'Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。  イギリスの新と旧、静と動の文化を日常生活を中心に探ったエッセイを用い、リスニング、ボキャブラリー、ライティングなどの総合的な英語力の向上を目指す教材。全20章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
12. Basically America, Basically Japan--- -文法中心の日米比較	共	2005年01月	南雲堂	Charles L. Clark、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。  日米両国の文化・社会事情を比較したエッセイを用い、文法中心のエクササイズを通じて英語力の向上を図る総合教材。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
13. Spotlight on Britain ---イギリスを探る	共	2004年1月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。  イギリスの文化や社会に関するエッセイとパラエティに富んだ練習問題を収めた総合教材。同一トピックを二つのレッスンに分け、Part 1 のエッセイはより広い視点から見た内容のもの、Part 2 はPart 1 の内容を少し深り下げたものである。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
14. 現代英米児童文学評伝叢書10 フィリパ・ピアス	共	2003年11月	KTC中央出版	三宅興子、島式子、藤井佳子、福本由紀子他共著。  イギリス児童文学作家フィリパ・ピアスの生涯と作品分析。 担当部分：I 「その生涯——人と作品」第1部 生涯：1. 誕生・子ども時代、大学卒業に至るまで（1920-1945）pp.4-9、第2部 作品による特徴：3. ピアスの生涯と深くかかわる土地と自然 pp.36-40、II 「作品小論」2. 『トムは真夜中の庭で』論 pp.66-73、III 「作品鑑賞」2. 『トムは真夜中の庭で』Chapter III: By Moon light pp.104-111
15. Bridge to College English---文法中心の 大学英语	共	2003年1月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、村松秀紀、木村博是、福本由紀子共著。  イギリスの文化を学びながら基本的な文法事項を確認し、コミュニケーション能力を高めるためのリスニング訓練を行う英語総合教材。全25章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
16. 英米児童文学ガイド ---作品と理論	共	2001年04月	日本イギリス児童文学学会編、研究社	谷本誠剛、三宅興子、福本由紀子他共著。  英語圏児童文学全般に関して、「研究へのアプローチ--作品とジャンル」「批評の理論と方法」の観点からの評論集。 「『ピーターパン』論--子ども部屋を飛び立った子どもたち--」pp.128-136
<b>2 学位論文</b>				
1. 「児童文学における「家」の力 —イギリス児童文学に描かれた「家」の研究—	単	2008年01月	甲南女子大学大学院博士論文	イギリス児童文学における「家」の物語研究。主に、Lucy. M. Boston, Alison Uttley, Beatrix Potter, Kenneth Grahame, A. A. Milne, J. M. Barrie, Philippa Pearceを取り上げる。
2. "A Study of the House in the Green Knowe Stories"	単	1995年1月	甲南女子大学大学院修士論文	Lucy Bostonの作品における「家」の持つ意味を考察。
3. "The House in Children's Literature: A Study of Aspects of the House with Particular Reference to the Green Knowe Stories"	単	1994年09月	英国レディング大学大学院修士 (M. A.) 論文	英国の家の歴史を辿りながら、A. Uttley, F.H. Burnett, Lucy Bostonらの作品における「家」の持つ意味を、日本児童文学と比較しながら考察。特に Boston作品に関する、他の児童文学作家の家の扱い方との比較分析。
<b>3 学術論文</b>				
1. 「Roald Dahlの短編作品を読み解く—クリティカルリーディングの一環として	単	2025年2月発行予定	Mukogawa Literary Review No. 62, 武庫川女子大学英文学会	クリティカルリーディングの観点から、Roald Dahlの短編作品"Lamb to the Slaughter"と"Dip in the Pool"を読解分析する。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
②」(仮題)(査読付)(投稿予定)				
2. 「The Secret Gardenを読み解くークリティカルリーディングの一環として」	単	2024年3月31日	言語文化研究所年報34号、武庫川女子大学言語文化研究所	クリティカルリーディングの観点から、F. H. バーネットの <i>The Secret Garden</i> を読解分析する。pp.87-106
3. 「Peter Rabbit 物語シリーズにおける家・母親・子どもーTom Kittenを中心に」(査読付)	単	2018年3月	Mukogawa Literary Review No. 55, 武庫川女子大学英文学会	Beatrix Potter のPeter Rabbit物語シリーズにおける子ネコの物語3作を取り上げ、家、子どもの遊び空間、母親像について分析する。pp.1-20
4. 「Mary Poppins物語におけるナニーの存在と役割」(査読付)	単	2016年03月	Mukogawa Literary Review No. 53, 武庫川女子大学英文学会	乳母(nanny)を主人公ないしは主要人物の一人とする児童文学作品(主としてP. L. TraversのMary Poppins物語シリーズ)を通して、19-20世紀のイギリス文化におけるナニー像の様相を探る。pp.1-24
5. 「Paddington Bear物語におけるmarmaladeの意味」(査読付)	単	2013年3月15日	Mukogawa Literary Review No. 50, 武庫川女子大学英文学会	Michael BondのPaddington Bear物語において、幼年文学としてのPaddington像の魅力をその性格的特徴や周囲の大人たちの反応から再考察し、同時に作品中で重要な役割を果たすmarmaladeの意味を追求する。pp.1-19
6. 「Peter Rabbit物語シリーズにおける「子ども部屋」空間の広がり」(査読付)	単	2006年3月	大阪国際児童文学館紀要 第19号	Beatrix Potter のPeter Rabbit物語シリーズにおける、子どもの遊び空間についての分析。pp.47-56
7. 「アメリカ児童図書コレクション(甲南女子大学図書館所蔵)絵本総目録」	共	2005年03月	甲南女子大学英文学研究 第41号	島式子、福本由紀子共著。 甲南女子大学図書館所蔵の20世紀前半までのアメリカ絵本コレクションの解説および目録。共著者と共同で全頁を作成。
8. 「The Wind in the Willows再読---Toadの冒険と館---」(査読付)	単	1999年3月	甲南女子大学大学院英文学論集 XVI	K. Grahameの <i>The Wind in the Willows</i> をカエルの冒険と館に焦点をあて、カエルの性質と館が象徴するもの、冒険と館との繋がりを、当時の英国社会におけるカントリーハウスと郷紳のイメージと共に考察する。pp.43-57
9. 「砂の妖精Psammead ---魔法と子どもたち---」(査読付)	単	1998年3月	甲南女子大学大学院英文学論集 XV	E. Nesbitの <i>Five Children and It</i> に登場する砂の妖精Psammeadについて、その由来や性質、制限付きの魔力、子どもたちとの関係、Psammeadが作り出された社会的背景、また 彼の生きる場所等に注目しながら分析する。pp.17-27
10. 「Edith Nesbitの作品における子ども部屋の意義」(査読付)	単	1997年04月	甲南女子大学大学院英文学論集 XIV	イギリス児童文学において意義深い舞台である「子ども部屋」について、E. Nesbitが子ども部屋の「保護」の役割に子どもたちの「想像」という要素を加えた新しい空間として、広義の「子ども部屋」を作り出したことについて論じる。pp.51-61
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 英米児童文学入門〜ピーターラビットを中心に	単	2011年6月11日	武庫川女子大学春期英文学会	武庫川女子大学英語文化学科春期英文学会において、ピアトリクス・ポターの「ピーターラビット」物語を中心に、英語圏児童文学の読解分析について述べる。
<b>2. 学会発表</b>				
1. “The Role of Houses and their Power in the Works of Philippa Pearce”	単	2007年8月29日	International Research Society for Children’s Literature (国際児童文学学会), Kyoto, Japan	Philippa Pearceの作品における「家・館」の持つ意味を考察する。
2. 「Winnie-the-Poohにおける子ども部屋の考察」	単	2003年11月16日	日本イギリス児童文学学会研究大会	A. A. MilneによるWinnie-the-Pooh シリーズにおいて、子ども部屋空間とは何か、子ども部屋がどのように機能しているかを考察する。
3. “The Gap between Adults and Children: the		2002年10月1日	IBBY (国際児童図書評議会) 国際会議, Congress	イギリス児童文学と比較しながら、日本の児童文学出版の現状について述べる。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Circumstances in Japan” 4. “The Cultural Landscape in the Nursery in the World of Winnie-the-Pooh”	単	2001年4月6日	Centre, Basel, Switzerland 国際学会 ”National and Cultural Identity in Media” Univ. of Reading, Centre for International Research in Childhood: Literature, Culture, Media., UK	A. A. MilneによるWinnie-the-Pooh シリーズを、子ども部屋における文化的背景という観点から考察する。
5.”The Meaning of the Houses in <i>The Wind in the Willows</i> ”	単	1998年4月25日	国際学会”Re-constructing the Riverbank: The Wind in the Willows and after” Univ. of Reading, Centre for International Research in Childhood: Literature, Culture, Media., UK	K. Grahameの <i>The Wind in the Willows</i> を「館」という観点から、主要登場人物との関わりにおいて分析する。
6. 「Edith Nesbitの作品における子ども部屋の意義」	単	1996年6月5日	甲南女子大学大学院英文学研究会	Edith Nesbitによる <i>The Story of the Treasure Seekers, The Children and It</i> を、「子ども部屋」という観点から分析する。
7. 「Green Knowe物語における館の一考察」	単	1995年10月22日	日本イギリス児童文学学会研究大会	Lucy Bostonによる「Green Knowe物語」における「家」の持つ意味について分析する。
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 2023年度フォーラム報告集「児童文学とは何かを問い続けて三宅興子の仕事を顧みる」	共	2024年10月1日発行	大阪国際児童文学振興財団	講演録：松下宏子、多田昌美、藤井佳子、福本由紀子 // 編、土居安子 // 編
2. 講演「イギリス児童文学の世界」	単	2024年5月31日	兵庫県私立小学校連合会学校図書館部会	イギリス児童文学を「家・館」「子ども部屋」「食文化」の観点から読み解く。イーディス・ネズビット、ベアトリス・ポター、J. M. バリ、A. A. ミルン、マイケル・ボンド、L. M. ボストン、フィリパ・ピアスらの作品を取り上げる。
3. 講演「文学のなかの「子ども部屋」～イギリスの子どもの本から」	単	2024年2月25日	加古川市立中央図書館「子ども読書講演会」	イギリスの児童文学作品を中心に、「家・館」「子ども部屋」をキーワードに読み解く。イーディス・ネズビット、ベアトリス・ポター、J.M. バリ、A. A. ミルン、P.L.トラヴァース、モーリス・センダック、L. M. ボストンらの作品を取り上げる。
4. 翻訳絵本『たべてみて！フリーダ・キャプランがひろげた食のせかい』	単	2024年1月30日	BL出版	マーラ・ロックリフ文、ジゼル・ポター絵
5. 翻訳絵本『どなたで	単	2023年3月	BL出版	サム・シャーランド文・絵

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
もどうぞ！バレンタインさんのホテルのおはなし』		30日		
6. 講演要旨「ネーミングの言語文化ー英語圏児童文学から読み解く「名前」」	単	2020年3月26日	武庫川女子大学言語文化研究所年報第30号	シンポジウム「ネーミングの言語文化」（本研究所公開講座2020年2月14日）において、英語圏を中心とした児童文学作品における「名前」「名づけ」について行った講演の要旨。pp.107-110
7. 学院創立80周年記念シンポジウム「ネーミングの言語文化」	共	2020年2月14日13:05-16:20	武庫川女子大学言語文化研究所	問題提起「文学・芸術・学術の世界において」言語文化研究所長 玉井暲、福本由紀子他登壇。
8. 学院創立80周年記念シンポジウム講演「公開講座 英語圏児童文学から読み解く「名前」」	単	2020年2月14日10:45-12:15	武庫川女子大学言語文化研究所	英語圏の児童文学作品を中心に、物語のなかで登場人物の「名前」がどのように機能しているのかを探る。また、英語から日本語に翻訳する際の「名前」のつけ方についても言及する。
9. 翻訳絵本『ゾウ』	単	2019年9月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
10. 発表報告「言語文化と映像文化におけるネーミングー児童文学・児童文化の観点から」	単	2019年3月22日	武庫川女子大学言語文化研究所年報第29号	シンポジウム「ネーミングのコトバ学ー言語文化と映像文化におけるネーミング」（本研究所公開講座2019年2月15日）において、英語圏を中心とした児童文学や児童文化における「名づけ」「名前」について述べたもの。pp.105-109
11. シンポジウム「ネーミングのコトバ学言語文化と映像文化におけるネーミング」	単	2019年2月15日	武庫川女子大学言語文化研究所	口頭発表「英語圏児童文学におけるネーミング」
12. 講演「イギリスの絵本のたのしみ～ポター、バーニンガム、アンソニー・ブラウン」	単	2018年7月20日	守山市立図書館「児童図書研究講座」	イギリスを代表する絵本作家である、ベアトリクス・ポター、ジョン・バーニンガム、アンソニー・ブラウンを取り上げ、テキストと絵の両方から分析する。
13. 翻訳絵本『ホッキョクグマ』	単	2018年03月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
14. 翻訳絵本『シロナガスクジラ』	単	2016年07月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
15. 小論「英米児童文学入門～Peter Rabbitを中心に」	単	2012年3月	Newsletter No. 28 Department of English, Mukogawa Women's University (武庫川女子大学英文学会)	武庫川女子大学英語文化学科春期英文学会における、ビアトリクス・ポターの「ピーターラビット」物語を中心にした、英語圏児童文学の読解分析についての講演要旨。
16. 報告集「中国と日本の絵本」シンポジウム・論文集「中国の絵本」	共	2010年3月	大阪国際児童文学館	三宅興子 // 編集長、成実朋子 // 翻訳、松下宏子 // 翻訳、福本由紀子 // 翻訳、土居安子 // 翻訳、浅野法子 // 翻訳
17. 報告集「インドと日本の絵本」シンポジウム・論文集「インドの絵本」	共	2009年3月	大阪国際児童文学館	三宅興子 // [ほか]編集、黒川由香子 // 翻訳、多田昌美 // 翻訳、松下宏子 // 翻訳、福本由紀子 // 翻訳、土居安子 // 翻訳
18. 報告集「世界の絵本の現在」シンポジウム「タイの絵本」	共	2008年3月	大阪国際児童文学館	三宅興子 // [ほか]編集、多田昌美 // 翻訳、福本由紀子 // 翻訳、和田理寛 // 翻訳、ティティグロン・ダムロンパニチ
19. 国際アンデルセン賞IBBYオナーリスト受賞図書展リスト	共	2007年8月	日本国際児童図書評議会	福本友美子 // 編集・翻訳、前沢明枝 // 翻訳、福本由紀子 // 翻訳、野坂悦子 // 翻訳、宇野和美 // 翻訳
20. 報告集「台湾と日本の絵本」シンポジウム・論文集「台湾	共	2007年3月	大阪国際児童文学館	三宅興子[ほか]編集、成実朋子 // 翻訳、多田昌美 // 翻訳、福本由紀子 // 翻訳、王映方 // 翻訳

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
の絵本」 21. 翻訳絵本『おばあちゃんのちょうちょ』	単	2006年10月	BL出版	バーバラ・M・ヨース文、ジゼル・ポター絵
22. 報告集「韓国と日本の絵本」シンポジウム・論文集「韓国の絵本」	共	2006年3月	大阪国際児童文学館発行	三宅興子 // 編集、申明浩 // 編、福本由紀子 // 編、土居安子 // 編
23. 翻訳『世界文学あらすじ大事典 1巻～4巻』	共	2005年08月から2007年06月	国書刊行会	第1巻：2005年8月、第2巻：2005年12月、第3巻：2006年9月、第4巻：2007年6月
24. 小論「ヴァージニア・ハミルトン A to Z」	共	2005年8月	『ネバーランド』vol.4、てらいんく	島式子、島玲子、山本泰子、福本由紀子共著。 アメリカ人児童文学作家ヴァージニア・ハミルトンについての小論。
25. 翻訳絵本『クエンティン・ハーター三世』	単	2003年06月	BL出版	エイミー・マクドナルド文、ジゼル・ポター絵
26. 翻訳『ねむり姫がめざめるとき---フェミニズム理論で児童文学を読む』	共	2002年7月	阿呷社	ロバータ・シーリンガー・トライツ著、吉田純子・川端有子監訳、多田昌美、水間千恵、福本由紀子他共訳。 第5章「女性作家の再構築—フェミニズム芸術家小説の主体性」を担当。pp.112-140
27. 翻訳絵本『ほんとうのことをいってもいいの？』	単	2002年05月	BL出版	パトリシア・C・マキサック文、ジゼル・ポター絵
28. シンポジウム「海外児童文学研究の動向」	単	2001年10月21日	日本イギリス児童文学学会研究大会	シンポジウム：パネラー
29. 評論「『ふくろ小路一番地』再読」	単	2000年11月	『日本児童文学』11・12月号、小峰書店	イーヴ・ガーネットによる『ふくろ小路一番地』(The Family from One End Street, 1937) についての分析。
30. 翻訳「トミー・ウンゲラー氏の紹介」	単	1998年12月	『JBBY (日本国際児童図書評議会) 会報 No.89』	マイケル・スコット・ジョセフ著
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 英語文学テキストを用いた批判的応用言語学に基づくクリティカル・リーディング	共	2023年	学術振興会	2023年度～2026年度 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 英語文学テキストを用いた批判的応用言語学に基づくクリティカル・リーディング (研究代表者：田中真由美、研究分担者：福本由紀子、松原陽子)

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2024年5月31日	講演「イギリス児童文学の世界」兵庫県私立小学校連合会学校図書館部会
2. 2024年2月25日	講演「文学のなかの「子ども部屋」～イギリスの子どもの本から」加古川市立中央図書館
3. 2023年4月～現在	英語圏児童文学学会西日本支部 支部長
4. 2023年4月～現在	英語圏児童文学学会理事 (旧・日本イギリス児童文学学会)
5. 2018年7月20日	講演「イギリス絵本のたのしみ～ポター、バーニンガム、アンソニー・ブラウン」守山市立図書館
6. 2014年4月から2016年3月	日本イギリス児童文学学会理事 (現・英語圏児童文学学会)
7. 2001年06月～現在	日本英語検定面接委員
8. 1998年02月24日	講演「イギリス児童文学と子ども部屋」榎原図書館
9. 1997年12月18日	講演「イギリス児童文学の黄金時代の作家たち2」三田市立図書館
10. 1997年12月04日	講演「イギリス児童文学の黄金時代の作家たち1」三田市立図書館
11. 1997年11月27日	講演「イギリス児童文学の楽しみ---イギリス絵本の流れ」三田市立図書館